

吉田財団設立40周年記念事業

令和7年度 教材活用状況報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山倉修一 殿

学校名	福岡県立小郡高等学校（みらい創造コース）
学校長名	校長 彌永 順之
報告者	教頭（みらい創造コース）原 陽三
寄贈品	Webカメラ OBSBOT Tiny 2 パワーアップコンボ【5台】
《振り返り》	
教育的課題	令和7年度から設置された学びの多様化学校「みらい創造コース」には不登校を経験した生徒が入学しており、毎日登校することが困難なケースが多くみられる。そういった状況であるため、学校を休むことで授業の進度に遅れが生じ、ますます学校に登校しづらくなることも少なくない。
教材活用の狙い	【生徒に関して】 授業の様子を正確に記録、配信できるWebカメラを導入することで、学校を休んだ場合でも家庭で授業内容を確認できるようにする。 【教員に関して】 解像度が高く、より鮮明な画像を配信することができ、オートズームによるオートトラッキングを活用することで、教員の動きも自動で追尾できる。さらに、ジェスチャーや音声で機器操作ができるため、教員の操作面での負担を軽減することができる。
目的達成の為の工夫	実技を伴う教科・科目以外の全授業において、配信されることを意識した授業形態（カメラから移る範囲を意識した板書の工夫等）を実施する。
《教材活用の効果・成果》	
活用状況及び、教育的課題の解決状況	【活用状況】 実技を伴う教科・科目以外の全授業において、生徒の申請に応じて配信を行っている。使用する教室すべてに設置できているので、容易に使用できる。 【教育的課題の解決状況】 鮮明な画像と音響を配信することができるので、学校を休んだ場合や別室の場合等でも、その場にいるような状況で授業を視聴することができ、授業の遅れを防ぐことができるので再度登校する場合や入室する場合の不安感を解消することができる。
対象者・利用頻度	【対象者】みらい創造コース40名 【利用頻度】ほぼ毎日

目的達成状況	学校（授業を別室で受ける場合も含む。）を休むことで授業の進度に遅れが生じ、学校に登校しづらいという生徒はいなくなった。
教育的効果についての所見等	生徒だけでなく先生方からも使用しやすいという意見があり、教育的効果は非常に高いので今後も活用していきたい。

活用状況の写真等(当日の様子など)

※写真に映りたくない生徒が多く在籍しているので写真は教員のみとなります。

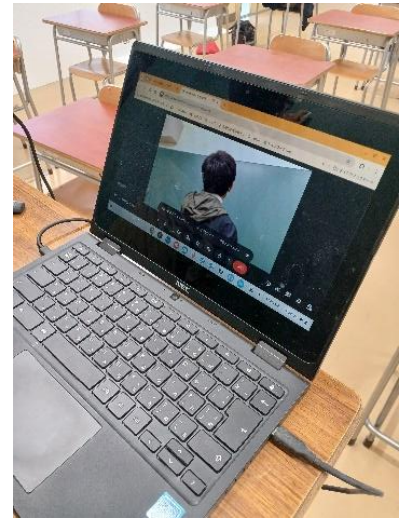
① Web カメラ



②授業風景 1



③授業風景 2



①非常に小さく生徒が気にならないので授業に集中ができる。教員の動きも自動で追尾できるので、自分の目で見ているような感覚で授業を視聴できる。さらに、ジェスチャーや音声で機器操作ができるため、教員の操作面での負担を軽減することができる。

②各教室にはオンラインセットが常設されているのですぐに配信することができる。生徒が途中で別室対応になった時もスムーズに開始することができる。

③chrome book の Google Meet を使用して配信している。教員は生徒が見ている映像を確認しながら授業を行うことができる。また、スピーカーもセットになっているので音響もクリアである。

今後の活用見通し・課題

令和9年度には、みらい創造コースが3学年そろふことになるので、必要な台数を追加し、授業が実施される全教室で同時に授業が配信できる体制を整えていきたい。

しかし、非常に高価なものなので、費用をどのように捻出するかが課題である。